

2017年10月

**LINKtopos から
翔たいていった
仲間から**



あなたへのメッセージ



公立大学 学生ネットワーク

LINKtopos



林 優名 (はやし ゆうな)

()

SCHOP()

LINK topos
LINK topos
LINK topos

LINK topos

LINK topos
" " " "

LINK topos

2

" " " "



新妻 茜 (にいづま あかね)

出身大学：茨城県立医療大学

(平成 26 年度卒業)

参加大会：第 1 回

【大学での地域貢献活動の内容について】

県内の中学校高校へ訪問し、デートDV、性感染症、HIV 等についてロールプレイや数種類のワークを用意、生と性を考える授業を行った。また保健所とピンクリボン活動やエイズ予防啓発活動を行った。#ピアエデュケーション #生と性の教育 #保健体育 #地域保健 #ピンクリボン活動

【LINKtopos に参加したきっかけ】

学校側より LINKtopos に関するお知らせがあり、公立大学の学生が集まる機会がとても興味深かく、大学卒業前に新しい世界に飛び込んでみたいと思ったからです。

【LINKtopos で得たモノ】

他の大学の学生とディスカッション、情報交換することで、たくさんの刺激を受けました。他大学の活動のプレゼンテーションを聞き、それを持ち帰り、自分の地域・大学の特性をふまえてどんな活動ができるかを考えるキカッケをいただきました。

自分の大学内のみでは得られない情報や、問題解決の考え方、熱い思いモチベーションを共有できる仲間はいまでも本当に宝物です。

【LINKtopos 後の変化】

学校に持ち帰り共有することで、地域ボランティアサークル活動について再考する機会を設けました。今まで考えたことがなかった公立大学の在り方や存在意義、それを考えることが私のターニングポイントになり、残りの大学生活で、より地域や大学に愛着を持つことができました。

さらに後輩にもっと伝えていくことができたらよかったな・・・と、卒業してから後悔しています。

【現在の活躍】

東京都内の整形外科で看護師として勤務しています。仕事をしている上では、都会という地域性でのコミュニティ構築や、地域包括ケアの難しさを感じます。そんな中で、プライベートで地域に住む方の健康相談や企業と連携し予防医学の推進ができるよう日々模索しながら活動しています。

LINKtopos の仲間と会って話すと、一見他の畑の話に思える内容のなかにヒントが隠れていたり、いまでも大切な仲間との繋がりはたくさんの活力を与えてくれています。



荒木 尊士 (あらき たかし)

出身大学：大阪府立大学大学院工学研究科

(平成27年度修了)

参加大会：第1回、第2回

【大学での地域貢献活動の内容について】

OPU for 3.11 ネットワークという団体に所属し、東日本大震災の被災地へのボランティア派遣、学内・大学周辺地域での防災啓発イベント、高校への出張授業などを行っていました。

#被災地ボランティア、#防災啓発活動

【LINKtoposに参加したきっかけ】

東日本大震災の復興支援活動に関わる学生が活動報告を行うシンポジウム(公立大学協会主催)に参加して、同世代の学生から学びや刺激を得るような機会を続けたいと思ったことです。また、大学で東北へのボランティア派遣を企画した際には、教員・職員からボランティアの心構えについてのレクチャーなどのサポートがあり、学生・教員・職員が一丸となることに可能性を感じました。そこで自ら企画した第1、2回大会では、活動報告だけでなく、学生・教員・職員が協力して創出できる価値についても議論を行いました。

【LINKtoposで得たモノ】

“公立大学の魅力”です。LINKtoposでは他大学の学生・教員・職員との交流を通じて、大学には多種多様な専門領域、強みを持つ学生・教員・職員がいることを認識することができました。地域社会における知の拠点としての役割を持つ公立大学には、地域社会に対しての貢献という期待があると考えています。様々な強みを持つ学生・教員・職員が立場や大学の垣根を超えて地域社会の課題に取り組む環境を作ろうとする姿勢に対して魅力を感じました。

【LINKtopos後の変化】

教員・職員との距離が近くなったことです。学内で会った際には雑談をするようになり、被災地支援や防災に関する活動に対して情報をもらえるようになりました。また、教員・職員が取り組む活動について相談を持ちかけられ、一緒に活動する機会を持つことができました。LINKtoposで学んだ、立場や考え方が異なっても理解し合い、共通の目的のために協力することを大学に戻ってから実践できたと考えています。

【現在の活躍】

情報・通信サービスを提供する企業において、ユーザに合わせて情報を抽出する技術の研究を行っています。東北でのボランティアの際に、自宅で取得する健康に関するセンサデータと、医療機関が保持するデータを組み合わせた解析についての事例を聞いたことがきっかけとなり、技術の力で地域社会と関わりたいと思い、現職に至っています。ゆくゆくは自ら企画したサービスを地域社会に提案していきたいと考えています！



公立大学学生ネットワーク

LINK topos

LINKtopos 参加メンバーの声

氏名 (ふりがな)

出身大学：

(平成**年度 卒業/在学)

参加大会：**回

写真を張り付けてください

【大学での地域貢献活動などの内容】

【LINKtopos に参加したきっかけ】

【LINKtopos で得たモノ】

【LINKtopos 参加後の変化】

【現在の活躍状況】
